

1 目指す学校

八王子市立横川小学校は、豊かな自然と温かな地域を十分に生かしつつ、公教育の目的である基礎学力の定着・向上と人間形成をバランスよく育成するため、個に応じたきめ細かな教育活動を展開し、保護者・地域の信託に応える学校づくりを進める。

2 学校経営の基本的な考え方

学校教育目標 (育てたい子供)

「生涯にわたってよりよく生きる力」の基礎をはぐくむ学校

自分の考えもち、すすんで行動し、人の気持ちの分かる子を目指す

・自分からすすんで学ぶ子ども(知) ・思いやりのある子ども(徳) ・からだをきたえる子ども(体)

(1) 基本理念

生涯にわたってよりよく生きる力を「自分の人生を自分の責任で生きていく力」「社会との関わりの中で自分を生かす力」と捉え、知・徳・体の基礎基本の指導を中心に教養と品格を育み、地域、社会に貢献できる人間を、義務教育9年間を視野に入れて育成する。

(2) 中期的目標と方策

① 児童が成就感、満足感を味わえる学校

自己実現の場所が随所にあり、学習、行事、日常活動を通して必要なことを十分に学び、その上に立った練習、努力で児童自身が自らの進歩、成長を実感できるようにしていく。

② 教職員が専門職としての自覚と高い指導力をもち、協働し学び合う学校

教育者として児童や保護者との確かな信頼関係を築くため、一人ひとりが日々の言動に責任をもち、互いに協働し、切磋琢磨する中で個人の力量、組織としての力量を高めていく。

③ 保護者・地域と共に歩む安心・安全な学校

地域運営学校として保護者・地域と協働しながら、共に知恵を出し合い子供たちの豊かな成長を支える様々な教育活動を推進する。横川中学校区として関係機関同士の情報共有を図り、校内外の環境や安全体制づくりを推進し、子供にとって安心・安全で居心地のよい学校を実現する。

④ 義務教育9年間を視野に入れた小中連携活動を行う学校

横川中学校と協働し、教育活動の連携を図る。互いの違いを認識し、それぞれの良さを生かしながら、児童・生徒間の具体的な交流活動等の小中連携を推進していく。そのために小中学校が教育活動や研究活動等を意図的・計画的に行っていく。また、その成果を検証しながら、充実・発展させていく。

(3) 今年度の重点

「自分からすすんで学ぶ子ども」を重点目標とし、ユニバーサルデザインの視点を大切にした分かる・できる授業を研修し、学力向上に向けての組織的な取組を充実させていく。個に応じた指導の充実及び主体的・対話的・深い学びを目指し、児童の基礎的・基本的な学力の定着を図っていく。横川中学校との連携を図り、児童・生徒間の交流を具体化し、小中一貫教育を推進する。地域運営学校として地域の情報を共有・発信し、地域コミュニティの一体化を推進する。

3 学校の現状と令和8年度に向けた取組方策

学校経営の充実を図るための以下の観点について、次のような方策を考える。

○学力の定着と向上、組織的な授業改善

過去の学力調査の結果では、学習内容の定着に関して個人差が非常に大きいという傾向が見られた。そこで校内研究の取組を中心に、ユニバーサルデザインの観点を踏まえたすべての児童が分かる授業、教師個々の指導力の向上、学力向上策に基づく組織的な授業改善を推進する。学年に応じた教科担任制と交換授業を推進し、複数の教員で専門的に指導する体制を構築していく。朝学習タイムおよび読書タイムを充実させると共にミライシードのドリル機能を有効活用した家庭学習を通し、児童一人一人の学力定着を図る。

○地域資源を活用したキャリア教育の推進

身近な環境とのふれあいから環境に関心をもち、自分ごととして身の回りの環境をより良くしようとする体験活動を充実する。八王子の文化・伝統・産業に関心をもち、地域の一員として地域の人々と積極的に関わる探究学習を充実する。郷土に対する誇りと愛情を育む教育を推進する。

○読書活動の充実

読書は知的活動を推進し、人間形成や情操を養う上で読書習慣を身に付けさせる上で大切であるが、児童自身に読書に対する充実感をもたせるには至っていないことが課題。読書の楽しさが実感できるように取組の充実を図る。そのために週1回の朝読書の組織的な取組、学校図書館司書と連携した学校図書館の利活用を更に推進する。

○社会性・人間性の育成

日常生活や社会における常識、礼儀、規範意識の指導を充実させ、社会との関わりの中で自分を生かす力を育てていく。異学年児童、未就学児、地域住民等との交流を通して、他者への思いやりやリーダーシップを育む指導の充実を図り、自分の将来に対する夢や希望をもつことができるようにする。縦割り班活動（サンフラワertime）の内容の充実を図り、子供たちの自主・自律を促進させる。副籍交流や特別支援学級と通常学級の交流及び共同学習を推進していく。

○健康の維持・推進

義務教育9年間を見通して、一貫した健康教育の充実と推進を図る。体育指導・保健指導を充実させ、健康に関する関心を高め、自ら健康を維持増進する態度を育成する。体育的行事を適宜実施し児童が主体的に運動できるようにする。体力調査を基に児童の体力の実態と変容を把握し、体育指導の充実、外遊びの励行により、課題改善を図る。

○安全・安心の確保

学校が子供たちにとって安全で安心して過ごせる場とするために安全指導・安全点検を充実させるとともに、学校安全計画に基づく校内外の安全体制整備と教職員の危機意識の更なる高揚を図っていく。また、いじめ、不登校ゼロを達成するために、「横川小学校いじめ防止基本方針」に基づいた週1回のいじめ対策委員会の開催と登校支援別室指導員の活用により、早期発見・早期対応による迅速かつ適切な指導と組織的対応を実施する。

○保護者・地域との連携

地域運営学校として、家庭、地域の教育力を有効活用し、学校関係者の学校教育への理解を深めるとともに、教職員にも地域行事等へ積極的に参加させ、保護者・地域との連携を更に充実する。横川中学校区全体のコミュニケーションカレンダー作成を通して、両校及び地域の情報を共有・発信しコミュニティの一体化を図る。

○学校組織としての取組

安全を第一とした学校施設の管理、迅速な情報の発信、効果的な学校予算の執行、教職員の教育公務員としての自覚・人権意識向上等に努める。児童と教員の Well-being 向上を目指した働き方改革を行い、児童・保護者の多様なニーズ等に対応できる学校を目指す。横川小学校で学ぶ児童のために、学校として統一した方針に基づき、全教職員が迅速かつ組織的な取組を実践する。